

製品安全データシート

作成日 2026年6月23日

1. 化学品及び会社情報

化学品 S-150

供給者の会社名称 アーク株式会社

住所 大阪市中央区安土町3-5-13

電話番号 06-6563-7710

FAX番号 06-6563-7720

推奨用途 溶剤

使用上の制限 工業用途

2. 危険有害性の要約

GHS分類 JIS Z 7252、7253 : 2019 使用

物理化学的危険性

引火性液体 区分3

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(中枢神経系、呼吸器)

誤えん有害性 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分1

水生環境有害性 長期(慢性) 区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

可燃性液体

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

発がんのおそれの疑い

長期継続的影響によって水生生物に毒性

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

ミスト、蒸気、スプレートの吸入を避けること。

取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

環境への放出を避けること。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。

無理に吐かせないこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

火災の場合:消火するために適切な消火器具を使用すること。

漏出物を回収すること。

保管

換気のよい場所で保管すること。

容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を国、都道府県、市町村の規制に従った場所に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別 混合物

化学名 Solvent Naphtha(petroleum), Heavy aromatic

成分

高沸点芳香族ナフサ

CAS番号 64742-94-5

分子式 Unspecified

分子量 -

濃度(wt%) 100

官報公示整理番号 化審法：(9)-1694、 安衛法：既存化学物質

上記内

1,2,3-トリメチルベンゼン

CAS 番号 526-73-8

分子式 C₉H₁₂

分子量 120

濃度(wt%) 6.85^(*)

官報公示整理番号 化審法：(3)-7、(3)-3427、 安衛法：既存化学物質

1,3,5-トリメチルベンゼン

CAS 番号 108-67-8

分子式 C₉H₁₂

分子量 120

濃度(wt%) 1.03^(*)

官報公示整理番号 化審法：(3)-7、(3)-3427、 安衛法：既存化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン

CAS 番号 95-63-6

分子式 C₉H₁₂

分子量 120

濃度(wt%) 4.10^(*)

官報公示整理番号 化審法：(3)-7、(3)-3427、 安衛法：既存化学物質

ナフタレン

CAS番号 91-20-3

分子式 C₁₀H₈

分子量 128

濃度(wt%) 6.43^(*)

官報公示整理番号 化審法：(4)-311、 安衛法：既存化学物質

(*)：代表値

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗浄する。

汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせてはいけない。直ちに医師の診察を受ける。

最も重要な兆候及び症状

眠気、めまい、呼吸器への刺激、皮膚刺激、目刺激、吐き気

医師に対する特別注意事項

症状は遅れて発現することがあり、過剰に曝露したときは医学的な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 棒状注水

火災時の特有の危険有害性 可燃性液体

火災時の危険有害性分解生成物 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火時の保護具 適切な保護具を着用して作業する。自給式呼吸器。完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に留まる。低地から離れる。

密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境中に放出してはならない。

回収

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。

大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

封じ込め及び浄化方法と機材

危険でなければ漏れを止める。

漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。

蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

蒸気発生の多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。

関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 データなし

安全取扱注意事項

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

個人用保護具を着用する。

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避 データなし

衛生対策

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。

涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

容器を密閉しておくこと。

安全な容器包装材料 データなし

8. 暴露防止および保護措置

高沸点芳香族ナフサ

管理濃度 設定されていない

濃度基準値 設定されていない

日本産衛学会 設定されていない

ACGIH 設定されていない

1,2,3-トリメチルベンゼン

管理濃度 設定されていない

濃度基準値 設定されていない

日本産衛学会 25ppm

ACGIH TLV-TWA 25ppm

1,3,5-トリメチルベンゼン

管理濃度 設定されていない

濃度基準値 設定されていない

日本産衛学会 25ppm

ACGIH TLV-TWA 25ppm

1,2,4-トリメチルベンゼン

管理濃度 設定されていない

濃度基準値 設定されていない

日本産衛学会 25ppm

ACGIH TLV-TWA 25ppm

ナフタレン

管理濃度 10ppm

濃度基準値 設定されていない

日本産衛学会 設定されていない

ACGIH TL-TWA 10ppm

設備対策

防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

空気中の濃度を曝露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。

「火気厳禁」、「関係者以外立入禁止」等の必要な標識を見やすい箇所に掲示すること。

安全管理のため状況に応じて、ガス検知器等を設置する。

保護具

保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具（防毒マスク（有機ガス用）、高濃度の場合、送気マスク空気呼吸器、）を着用すること。

吸着缶の厳格な管理を行うこと。

手の保護具 保護手袋(耐有機溶剤用手袋)を着用すること。

眼の保護具 眼の保護具(ゴーグルや顔面シールド)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

保護靴(静電靴)、耐油性（不浸透性・静電気防止対策用）前掛け、防護服（静電気防止対策用）等保護具を着用すること。

特別な注意事項

衛生対策 取扱い後はよく手、眼、口を洗うこと。

9.物理的および化学的性質

外観（物理的状态、色など） 無色透明液体

臭気 アロマ臭

臭気限界 データなし

pH データなし

融点/凝固点 データなし。

沸点および沸点範囲 178～210℃

引火点 $\geq 62^{\circ}\text{C}$

蒸発速度 データなし

難燃性（固体、ガス） データなし。

上限/下限可燃性または爆発限界 データなし

蒸気圧 0.1kPa (0.75mmHg) (20℃)

蒸気密度 データなし

比重 0.875~0.910 (20℃)

n-オクタノール/水分配係数 データなし

発火点 280~470℃ / 101.325kPa

分解温度 データなし

粘度 < 1.5mm²/s (25°C)

爆発性 データなし

酸化性 データなし

10. 安定性および反応性

反応性 通常の条件では、危険有害な反応は起こらない。

化学的安定性

通常の手扱いにおいては安定である。

流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。

危険有害反応可能性 強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件 空気との爆発限界内の混合ガスの形成。

混触危険物質 強酸化剤

危険有害な分解生成物 加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素等を生じる。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：区分に該当しない

高沸点芳香族ナフサ

ラット LD50：2050mg/kg、6900mg/kg(雄)、4700mg/kg(雌)

1,2,3-トリメチルベンゼン

ラット LDLo：8900mg/kg (RTECS(2009))

1,3,5-トリメチルベンゼン

ラット LD50：5000mg/kg (MOE 初期評価(2013))

1,2,4-トリメチルベンゼン

ラット LD50：5000mg/kg(雌) (RTECS(2008))

急性毒性（経皮）：区分に該当しない

高沸点芳香族ナフサ

ウサギ LD50:4100mg/kg(IUCLID (2000))、>3160mg/kg (EHC 20 (1982))

急性毒性（吸入：蒸気）：区分に該当しない

高沸点芳香族ナフサ

ラット 11mg/L/4h 15例中1例が死亡 (EHC 187 (1996)、ACGIH (7th. 2001)、ATSDR (1995))

ラット LC0:5.5mg/L/4h EHC 187 (1996)

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）：区分に該当しない

1,2,4-トリメチルベンゼン

ラット LC50: 18 mg/L/4h (環境省リスク評価第6巻(2008)、RTECS (2008))

EU分類 Xn; R20 (EU-Annex I)

1,3,5-トリメチルベンゼン

ラット LC50(4時間)：4800 ppm(24 mg/L) (NITE 初期リスク評価書 (2008)、

MOE 初期評価(2013)、REACH登録情報 (Accessed July 2021))

皮膚腐食性／刺激性：区分2 (皮膚刺激)

高沸点芳香族ナフサ 区分2 (皮膚刺激)

1,2,3-トリメチルベンゼン 分類できない

1,3,5-トリメチルベンゼン 区分2 (皮膚刺激)

1,2,4-トリメチルベンゼン 区分2 (皮膚刺激)

ナフタレン 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：区分2 B (眼刺激)

高沸点芳香族ナフサ 区分2

1,2,3-トリメチルベンゼン 分類できない

1,3,5-トリメチルベンゼン 区分2 B

1,2,4-トリメチルベンゼン 区分2

ナフタレン 区分2 B (眼刺激)

呼吸器感作性

高沸点芳香族ナフサ 分類できない

1,2,3-トリメチルベンゼン データなし

1,3,5-トリメチルベンゼン 分類できない

1,2,4-トリメチルベンゼン 分類できない

ナフタレン データなし

皮膚感作性

高沸点芳香族ナフサ 分類できない

1,2,3-トリメチルベンゼン データなし

1,3,5-トリメチルベンゼン 分類できない

1,2,4-トリメチルベンゼン 分類できない

ナフタレン データなし

生殖細胞変異原性

高沸点芳香族ナフサ 区分に該当しない

1,2,3-トリメチルベンゼン データなし

1,3,5-トリメチルベンゼン 区分に該当しない

1,2,4-トリメチルベンゼン 区分に該当しない

ナフタレン データなし

発がん性

- 高沸点芳香族ナフサ 区分に該当しない
- 1,2,3-トリメチルベンゼン データなし
- 1,3,5-トリメチルベンゼン 分類できない
- 1,2,4-トリメチルベンゼン 分類できない
- ナフタレン データなし

生殖毒性

- 高沸点芳香族ナフサ 分類できない
- 1,2,3-トリメチルベンゼン データなし
- 1,3,5-トリメチルベンゼン 分類できない
- 1,2,4-トリメチルベンゼン 分類できない
- ナフタレン データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分3（気道刺激性、麻酔作用）

- 高沸点芳香族ナフサ 区分3（気道刺激性、麻酔作用）
- 1,2,3-トリメチルベンゼン データなし
- 1,3,5-トリメチルベンゼン 区分3（気道刺激性、麻酔作用）
- 1,2,4-トリメチルベンゼン 区分3（気道刺激性、麻酔作用）
- ナフタレン データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分2（中枢神経系、呼吸器）

- 高沸点芳香族ナフサ 分類できない
- 1,2,3-トリメチルベンゼン データなし
- 1,3,5-トリメチルベンゼン 区分1（中枢神経系、呼吸器）
- 1,2,4-トリメチルベンゼン 区分1（中枢神経系、呼吸器）
- ナフタレン データなし

誤えん有害性：区分1

- 高沸点芳香族ナフサ 分類できない
- 1,2,3-トリメチルベンゼン データなし
- 1,3,5-トリメチルベンゼン 区分1
- 1,2,4-トリメチルベンゼン 区分1
- ナフタレン データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)：区分1

- 高沸点芳香族ナフサ 区分1

甲殻類(オオミジンコ) 48h-EC50：0.95mg/L (IUCLID 2000)

1,2,3-トリメチルベンゼン 区分2

甲殻類(オオミジンコ) 48h-EC50 : 2.7mg/L (MOE既存点検結果, 2012)

1,3,5-トリメチルベンゼン 区分2

甲殻類(オオミジンコ) 48h-EC50 : 6mg/L (NITE初期リスク評価書 2008、CERI
有害性評価書 2006)

1,2,4-トリメチルベンゼン 区分2

魚類(ファットヘッドミノー) 96h-LC50 : 7.72mg/L (優先評価化学物質のリスク評価
2015、REACH登録情報 2021)

ナフタレン 区分1

魚類(ニジマス) 96h-LC50 : 1.6mg/L

甲殻類(イサザアミ属) 96h-LC50 : 0.8mg/L (EU RAR(2003))

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分2

高沸点芳香族ナフサ 区分1

1,2,3-トリメチルベンゼン 区分2

藻類(ムレミカヅキモ) 48h-NOErC : 0.38mg/L (MOE既存点検結果, 2012)

1,3,5-トリメチルベンゼン 区分2

甲殻類(オオミジンコ) 21日間NOEC : 0.4mg/L (SIAP 2012)

1,2,4-トリメチルベンゼン 区分2

ナフタレン 区分2

魚類(ギンザケ) 40日間NOEC : 0.12mg/L (EU RAR(2003))

甲殻類(オオミジンコ) 28日間NOEC : 3mg/L (EU RAR(2003))

オゾン層への有害性 分類できない

13. 廃棄に関する注意事項

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその
処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切
な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 IMOの規定に従う

UN No. : 3 0 8 2、Class : 9、Packing Group : III

航空規制情報 ICAOの規定に従う

UN No. : 3 0 8 2、Class : 9、Packing Group : III

国内規制

陸上規制情報 消防法の規定に従う、道路法の規定に従う

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う

国連番号 : 3 0 8 2、クラス : 9、容器等級 : III

航空規制情報 航空法の規定に従う

国連番号 : 3 0 8 2、クラス : 9、容器等級 : III

特別の安全対策

消防法の規定に従う。

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、最寄りの消防機関その他の関係機関に通報すること。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

重量物を上積みしない。

移送時にイエローカードの保持が必要。

15. 法規制に関する情報

化審法

優先評価化学物質（1,2,3-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン、ナフタレン）

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき有害物（高沸点芳香族ナフサ、1,2,3-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン、ナフタレン）

皮膚等障害化学物質等（ナフタレン）

特定化学物質等（特化則）（ナフタレン）

作業環境評価基準で定める管理濃度（ナフタレン）

強い変異原性が認められた化学物質（ナフタレン）

危険物 引火性の物（1,2,3-トリメチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン）

消防法 危険物 第四類 第二石油類 非水溶性液体 危険等級III

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質(管理番号691) (トリメチルベンゼン)

第1種指定化学物質(管理番号302) (ナフタレン)

大気汚染防止法 揮発性有機化合物 (1,2,3-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン、ナフタレン)

16. その他の情報

各データ毎に記載した。

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。

このSDSは最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データをもとに作成しておりますが、化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をするものではありません。記載の注意事項は通常取扱を対象としたものであり、特殊な取扱をする場合は状況に応じた安全対策を 実施の上、お取り扱い願います。